

植物性ナノ型乳酸菌 SNK「抗ストレス」にて機能性表示食品届出受理のお知らせ

令和4年2月15日

株式会社 IHM

株式会社 IHM（東京都品川区）が販売している植物性ナノ型乳酸菌 SNK®を配合した製品「ナノ型乳酸菌 SNK1000」について、抗ストレスでの機能性表示食品届出が受理されました。主な内容は以下の通りです。

商品名	ナノ型乳酸菌 SNK1000（エスエヌケイ 1000）
機能性関与成分	<i>Lactiplantibacillus plantarum</i> ※1 SNK12 株
表示しようとする機能性	本品には <i>Lactiplantibacillus plantarum</i> SNK12 株が含まれます。 <i>Lactiplantibacillus plantarum</i> SNK12 株には、仕事や勉強などに伴う一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスを緩和する機能があることが報告されています。
一日の摂取目安量	1 袋 <i>Lactiplantibacillus plantarum</i> SNK12 株 1000 億個（原料換算として 50mg）
内容量	30 袋
届出者	株式会社 IHM
届出番号	H989

※1) 旧名称：*Lactobacillus plantarum*

<関与成分について>

長野県木曾地方で伝統的に食されてきた無塩の漬物「すんき漬け」から単離、培養された、グラム 2 兆個を規格している乳酸菌体（加熱殺菌処理乳酸菌原料）です。

これまでに、マウスを用いた基礎研究では、経口投与することで免疫を刺激しインフルエンザウイルス感染防御作用が示されている一方で、ストレスフリー環境下と慢性的な社会的挫折ストレス下において *Lactiplantibacillus plantarum* SNK12 株を経口摂取させることにより、マウスの海馬における脳由来神経栄養因子 (BDNF)、ニューロトロフィン 3(NT-3)、ガンマアミノ酪酸(GABA)受容体の mRNA の発現が上昇し、学習能力と鬱的行動様式の改善が認められることが確認されています。

*Lactiplantibacillus plantarum* SNK12 株の摂取は腸管に対して直接的に抗炎症的に作用するかあるいは腸内細菌叢を変化させ、酪酸などの短鎖脂肪酸の産生を介して、脳由来神経栄養因子 (BDNF) の発現を増加させることで一時的な精神的ストレス負荷時の否定的な感情や気分の不調を改善した可能性が考えられます。

以上